

卓球男子 銀



日本—中国の第3試合でプレーする丹羽(左)、吉村組
＝リオデジャネイロ(共同)



【リオデジャネイロ石垣総静】リオ
デジャネイロ五輪第13日
の17日、卓球の男子団体
決勝で日本は中国に1—
3で敗れ、銀メダルを獲

団体初のメダル

苦小牧出身・丹羽も善戦

得した。

日本はシングルスで銅メダルを獲得した水谷隼(27)＝ピーコン・ラボ＝、丹羽孝希(21)＝明大、苦小牧緑小出＝、吉村真晴(23)＝名古屋ダイハツ＝の3人が、2大会連続で優勝している中国に挑んだ。世界ランキング1、3、4位の3人で組む中国相手に水谷が1勝するなど善戦したが、敗れた。団体戦は2008年の北京五輪から採用された。同種目、日本男子として初めてのメダルを獲得した。



第2試合でプレーする水谷
＝リオデジャネイロ(共同)



初の五輪 2012年のロンドン五輪に初出場し、開会式で旗を手に行進(共同)



人気者 リオ五輪の男子シングルス4回戦を勝ち進み、笑顔で観客と記念撮影。小柄な体格で力強いスマッシュを決める姿は現地でも人気だ(共同)



国内トップ 青森山田高在学中に2013年の全日本選手権で水谷隼選手を破り、男子シングルスで初優勝を果たす

丹羽選手栄光の軌跡



天才少年 2006年に苫小牧緑小6年生で小学生としては全国で初めて全日本ジュニア・ナショナルチームの一員に選ばれた



仲間たち 青森山田中時代の2009年に世界選手権日本代表として出場(前列左端)。7年後にリオデジャネイロ五輪とともに戦うことになる仲間たち。前列左2人目から順に石川佳純、水谷隼、福原愛の各選手



世界で活躍 青森山田高時代にシンガポールで行われた2010年のユース五輪の卓球男子シングルス決勝で台湾の選手を下し見事優勝 (AP=共同)